



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 三菱食品 株式会社

上場取引所 東

コード番号 7451 URL <http://www.mitsubishi-shokuhin.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 彪

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部 IR室長 (氏名) 桜井 信彦

TEL 03-3767-5204

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,828,292	2.5	12,462	△13.6	13,807	△13.0	8,749	△5.2
25年3月期第3四半期	1,783,216	10.7	14,432	1.3	15,863	2.1	9,230	△17.2

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 9,661百万円 (0.6%) 25年3月期第3四半期 9,607百万円 (△19.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	153.13	—
25年3月期第3四半期	161.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	708,114	127,017	17.8	2,201.93
25年3月期	606,945	119,831	19.6	2,076.77

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 125,819百万円 25年3月期 118,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
26年3月期	—	21.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,370,000	2.2	15,000	△12.0	16,500	△11.9	10,000	△12.8	175.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	58,125,490 株	25年3月期	58,125,490 株
26年3月期3Q	984,768 株	25年3月期	984,445 株
26年3月期3Q	57,140,948 株	25年3月期3Q	57,141,337 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 品種別売上高明細表	10
(2) 業態別売上高明細表	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～12月31日）におけるわが国経済は、アベノミクス効果が実体経済に徐々に波及し、回復が遅れていた設備投資も増加に転じるなど、景気回復の動きに広がりが見え始めたものの、物価上昇に伴う実質所得低下や消費税率引き上げによる景気落ち込みへの懸念などから、先行き不透明な状況で推移しております。

個人消費においては、株高による資産効果により耐久財などの消費が大きく伸び、サービス消費も底堅く推移いたしました。一方で所得面の支えが限定的な中、日常的に消費する食品に対する節約志向は依然として根強く、食品流通業界においては厳しい環境が継続しております。

このような状況下、当社グループは、業態を超えた競争激化や業界再編、小売りPB（プライベートブランド）商品の拡大等、複雑化する課題に直面する取引先様への対応強化のため、昨年4月に実施した組織変更により、商品カテゴリーを超えた課題解決機能の提供に向け、総合的な取組みを実行する体制を整備いたしました。

さらに、全社的な業務プロセスの再構築を着実に推進することで、経営の効率化や収益性の向上を図ったほか、物流面では徹底的なローコスト化を追求するとともに、取引先様のあらゆるニーズに応え、事業領域の拡大に貢献すべく、機能構築・拡充を目指しております。

また、「中期経営計画2015」における成長戦略の一環として、生鮮事業強化を促進すべく、国内水産品の調達力、販売力に強みを持つ株式会社マルイチ産商と業務提携いたしました。当社の全国販売網・物流網、マーケティング力と組み合わせることで、水産品流通におけるサプライチェーンの構築に取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1兆8,282億92百万円（前年同期比2.5%増加）となりました。利益面につきましては、営業利益は124億62百万円（前年同期比13.6%減少）、経常利益は138億7百万円（前年同期比13.0%減少）、四半期純利益は87億49百万円（前年同期比5.2%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 加工食品事業

コンビニエンスストアや総合スーパー等との取引が拡大したこと等により、売上高は増加いたしました。しかしながら、利益面では、生活者の低価格志向を背景とした競争激化の影響等により、低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は6,044億93百万円（前年同期比2.5%増加）、営業利益は40億44百万円（前年同期比25.3%減少）となりました。

② 低温食品事業

単身世帯の増加や簡便化志向の高まりにより市販用冷凍食品・惣菜関連商材が堅調に推移し、総合スーパー、スーパーマーケット等との取引が増加いたしました。また、コンビニエンスストアにおけるカウンター商材の伸長等もあり、売上高は伸長いたしました。利益面では、競争激化等による売上総利益率の低下、また、売上高伸長により販管費が増加したため、前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高は6,992億24百万円（前年同期比3.9%増加）、営業利益は78億60百万円（前年同期比9.5%減少）となりました。

③ 酒類事業

景気の回復基調を背景にプレミアムビール等、一部高価格商品は好調に推移したものの、高齢化等による長期的な市場縮小傾向に加え、消費者の嗜好の変化や低価格志向の強まりから第3のビールや低アルコール・ノンアルコール飲料等、低価格商品の比率が高まり、売上高は減少いたしました。利益面では、厳しい環境の中、物流費を中心としたコスト削減を進めた結果、改善いたしました。

以上の結果、売上高は3,379億95百万円（前年同期比1.4%減少）、営業利益は2億7百万円（前年同期比132.6%増加）となりました。

④ 菓子事業

好調に推移するコンビニエンスストアやドラッグストア等との取引が拡大したことにより、売上高は増加いたしました。利益面では、環境は引き続き厳しいものの、採算管理の強化やコスト削減を進めたことにより、改善いたしました。

以上の結果、売上高は1,849億66百万円（前年同期比5.2%増加）、営業利益は40百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社は、当第3四半期の業績動向を踏まえ、平成25年5月7日に公表いたしました平成26年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。

総資産及び負債の増加の主な要因は、歳末商戦に伴う売上増加によるものであり、総資産においては「受取手形及び売掛金」が553億81百万円増加、「商品及び製品」が243億45百万円増加し、負債においては「支払手形及び買掛金」が995億47百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第3四半期の業績動向を踏まえ、平成25年5月7日に公表いたしました平成26年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。

売上高につきましては、日常的に消費する食品に対する生活者の節約志向は依然として根強く、商品単価の低下傾向は続いており、当初の計画から下回る見通しです。

利益面につきましても、競争激化の影響もあり採算悪化等、環境は引き続き厳しい状況で推移しており、当初の計画から下回る見通しです。

なお、配当につきましては、安定的な配当の維持を目指すという基本方針に基づき、前回予想通りとさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

当社及び連結子会社が顧客より物流業務を受託している物流センターの運営費や各店舗までの配送料などのうち、当該顧客との取引（商品の販売）に対応する費用については、従来、「販売費及び一般管理費」として処理しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「売上原価」として処理する方法に変更いたしました。

この変更は、平成23年7月1日の経営統合に伴い、物流業務受託取引の金額的重要性が増しており、今後もその傾向が継続すると見込まれることから、当該取引の性格等を総合的に勘案した結果、顧客との取引形態の変化に対応することで経営成績をより適切に表示するために行うものであります。

当該変更により、前年四半期については組替え後の四半期連結財務諸表となっております。

なお、組替え前と比較して、前第3四半期連結累計期間の売上原価は108億56百万円増加し、売上総利益、販売費及び一般管理費はそれぞれ同額減少いたしました。営業利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,551	642
受取手形及び売掛金	294,440	349,821
有価証券	42,000	7,000
商品及び製品	52,278	76,624
原材料及び貯蔵品	22	45
短期貸付金	35,520	91,166
その他	56,160	61,101
貸倒引当金	△1,843	△251
流動資産合計	481,130	586,150
固定資産		
有形固定資産	74,705	72,002
無形固定資産		
のれん	4,043	3,800
その他	2,630	2,405
無形固定資産合計	6,674	6,206
投資その他の資産		
投資有価証券	22,674	23,762
その他	23,722	21,604
貸倒引当金	△1,962	△1,611
投資その他の資産合計	44,434	43,755
固定資産合計	125,814	121,964
資産合計	606,945	708,114
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	406,796	506,344
引当金	2,276	96
その他	55,139	52,023
流動負債合計	464,213	558,464
固定負債		
退職給付引当金	13,496	13,751
役員退職慰労引当金	349	338
その他	9,054	8,542
固定負債合計	22,900	22,632
負債合計	487,113	581,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	33,244	33,244
利益剰余金	73,989	80,282
自己株式	△2,549	△2,550
株主資本合計	115,314	121,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,371	4,227
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	△18	△14
その他の包括利益累計額合計	3,354	4,213
少数株主持分	1,163	1,197
純資産合計	119,831	127,017
負債純資産合計	606,945	708,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,783,216	1,828,292
売上原価	1,654,486	1,702,165
売上総利益	128,729	126,126
販売費及び一般管理費	114,297	113,664
営業利益	14,432	12,462
営業外収益		
受取利息	108	123
受取配当金	576	508
不動産賃貸料	1,274	1,208
その他	924	1,091
営業外収益合計	2,883	2,932
営業外費用		
支払利息	120	111
不動産賃貸費用	1,091	1,022
その他	240	453
営業外費用合計	1,452	1,587
経常利益	15,863	13,807
特別利益		
投資有価証券売却益	10	393
固定資産売却益	1,085	186
その他	29	0
特別利益合計	1,125	580
特別損失		
固定資産売却損	244	308
減損損失	685	288
経営統合関連費用	797	—
その他	311	33
特別損失合計	2,039	629
税金等調整前四半期純利益	14,948	13,758
法人税、住民税及び事業税	4,938	3,179
法人税等調整額	923	1,781
法人税等合計	5,862	4,961
少数株主損益調整前四半期純利益	9,085	8,796
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△145	46
四半期純利益	9,230	8,749

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,085	8,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	516	861
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	4	3
その他の包括利益合計	521	864
四半期包括利益	9,607	9,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,702	9,608
少数株主に係る四半期包括利益	△94	52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	589,645	673,045	342,861	175,743	1,781,296	1,920	—	1,783,216
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,695	5,510	6,768	20	13,996	6,789	△20,786	—
計	591,341	678,556	349,630	175,764	1,795,292	8,709	△20,786	1,783,216
セグメント利益又は損失 (△)	5,416	8,683	89	△16	14,172	820	△560	14,432

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業、物流関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,172
「その他」の区分の利益	820
のれんの償却額	△183
全社費用	△376
四半期連結損益計算書の営業利益	14,432

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	604,493	699,224	337,995	184,966	1,826,679	1,613	—	1,828,292
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,875	6,428	7,743	40	16,088	7,988	△24,076	—
計	606,368	705,652	345,739	185,007	1,842,767	9,601	△24,076	1,828,292
セグメント利益	4,044	7,860	207	40	12,153	765	△456	12,462

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業、物流関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,153
「その他」の区分の利益	765
のれんの償却額	△242
全社費用	△213
四半期連結損益計算書の営業利益	12,462

4. 補足情報

(1) 品種別売上高明細表

(単位：百万円)

品種	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
缶詰・調味料類	208,908	11.7	211,364	11.6	273,509	11.8
麺・乾物類	114,226	6.4	117,771	6.4	151,358	6.5
嗜好品・飲料類	201,209	11.3	202,443	11.1	258,930	11.2
菓子類	179,170	10.1	190,645	10.4	247,180	10.7
冷凍食品類	295,680	16.6	319,812	17.5	383,414	16.5
チルド食品類	346,579	19.4	350,264	19.2	448,312	19.3
ビール類	192,826	10.8	188,936	10.3	242,742	10.5
その他酒類	153,747	8.6	153,546	8.4	197,402	8.5
その他	90,867	5.1	93,506	5.1	116,021	5.0
合計	1,783,216	100.0	1,828,292	100.0	2,318,873	100.0

(注) 1. 第1四半期連結会計期間より、品種別の売上高構成比を勘案し、重要性が高い品種に見直し表示しております。なお、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度についても、同様に組替えて表示しております。

2. P3 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報(表示方法の変更)に伴い、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度を組替えて表示しております。

(2) 業態別売上高明細表

(単位：百万円)

業態	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
卸売	172,589	9.7	175,105	9.6	221,398	9.6
GMS	134,080	7.5	145,421	8.0	174,797	7.5
SM	684,583	38.4	690,226	37.7	891,038	38.4
CVS	523,730	29.4	545,271	29.8	685,318	29.6
ドラッグストア	58,298	3.3	67,714	3.7	78,154	3.4
ユーザー	47,452	2.6	44,952	2.5	60,820	2.6
その他直販 (直販計)	137,099	7.7	134,263	7.3	174,234	7.5
	1,585,244	88.9	1,627,849	89.0	2,064,364	89.0
メーカー・他	25,382	1.4	25,338	1.4	33,109	1.4
合計	1,783,216	100.0	1,828,292	100.0	2,318,873	100.0

(注) 1. GMSはゼネラル・マーチャндаイズ・ストアの略で、総合スーパーであります。

2. SMはスーパーマーケットであります。

3. CVSはコンビニエンスストアであります。

4. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。